

# 平成30年度 地方創生交付金関連事業評価・検証調書

I. 交付金対象事業		種別	<input type="radio"/> 加速化交付金	<input checked="" type="radio"/> 広域		
		<input checked="" type="radio"/> 推進交付金	<input type="radio"/>	単独		
① 国への申請事業名	<b>もうかる農林水産業の実現に向けた「とくしまブランド」戦略</b>					
(広域連携自治体)	徳島県、小松島市、阿波市、那賀町、松茂町、北島町、板野町					
② 取組内容・目指す姿	本県の農林水産業を力強く成長させ、将来にわたり発展させ、将来を担う若い生産者が意欲を持って従事することができる産業へ発展させる。	担当課	農林水産課			
		事業期間	平成28年度～32年度			
II. 事業内容						
③ 本市における実施事業名	④ 事業概要					
6次産業化支援事業	・地元産品の開発補助および産直市などへの開発品の仕入れに繋げる。					
農林水産ブランドソフト事業	・本市特産の「はも」や「しいたけ」、「ちりめん」、「竹ちくわ」、「フィッシュカツ」などの知名度向上を図る。					
⑤ 事業計画(スケジュール)及び実施結果(予算・決算額・補助金)						
年度	事業計画	実施結果	予算・実績・補助金			
平成28年度	・「こまつしまブランド戦略推進協議会」によるこまつしまブランド産品の海外展開、輸出支援	「とくしまブランド」の海外でのブランド力向上ならびに本県経済活性化の実現を図るため、こまつしまブランド戦略推進協議会が台湾において農林水産品の物販およびPR出展をした。	当初予算額	2,800,000 円		
			実績額	983,880 円		
			補助金額	491,940 円		
平成29年度	・6次産業化に向けた商品開発等支援 ・「こまつしまブランド戦略推進協議会」によるこまつしまブランド産品の販路拡大、海外展開、輸出支援	支援をした市内市業者等が行う商品開発の「とくしまブランド」のブランド力向上を図るため、こまつしまブランド戦略推進協議会が県内外で農林水産物の商談会、物販、および、PR出展をおこなった。	当初予算額	7,504,000 円		
			実績額	6,626,137 円		
			補助金額	3,313,068 円		
⑥ 重要業績評価指標(KPI)		単位	H29		<広域連携自治体全体でのKPI> ・とくしまブランド推進機構が関与した5年間の総販売額 (H29目標値) 10億円 ・農林水産物等輸出入金額の5年間の総増加額 (H29目標値) 5.6億円 ※県との広域事業であるため、本市のみの実績数については記載せず。	
		基準値	目標値	実績値		
1	6次産業化商品件数	件	(H26) 1	3		4
2	6次産業化取り組み件数(累計)	件	(H27) 6	13		18
3						
⑦ 官民協働・自立性						
市と農協および漁協、商工会議所などで組織する「こまつしまブランド戦略推進協議会」を中心に本事業の推進を図っている。						

### Ⅲ. 評価・事業効果および今後の方針

#### ⑧ 有識者会議の評価・検証結果

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブランド認定商品が増えるとおのずと消費者の目につきやすくなる。米粉などを使用したスイーツなどを幅広く開拓して、認定商品を増やして欲しい。</li> <li>・農林水産業に携わる現場から積極的に6次産業化の提案を推進し、協議会内を活性化させていく必要がある。</li> <li>・特産品の中には加工するよりそのまま販売したほうが高く売れるものもある。市場のニーズを研究し、より付加価値がつく売り方の検討が必要。</li> <li>・海外へ販売する場合、農産物等の残留農薬の件が問題になる場合もある。海外販売での問題等をクリアできるような独自の制度をつくるなど、生産者支援を行うこともこれからは必要。</li> </ul>	外部組織による効果検証	
	A	<p>A. 地方版総合戦略のKPI達成に有効であった</p> <p>B. 地方版総合戦略のKPI達成に有効とは言えない</p>

#### ⑨ 交付金事業の地方創生への効果

有効性	②目指す姿・⑥KPIの達成に向けて効果があったか	B	「とくしまブランド」の輸出拡大によるもうかる農林水産業の実現を図る徳島県と連携し、物産展や商談会へ参加することにより、市の農林水産物を売り込むことができた。また、市内事業者等の行う新商品開発等の6次産業化への取組に対し支援ができた。
事業効果	本事業の地方創生への効果	B	海外バイヤーの集まる商談会等へ出展することで、市の農林水産物を売り込みすることができた一方、植物検疫や賞味期限等の課題についても確認することができた。6次産業化支援としても、新商品開発等への支援が行えた。
今後の方針	事業拡大・継続・改善・事業廃止の方向性	B	農林水産物の輸出を考える上では、加工品等の新商品を生み出すことは必須であり、またその商品売り出すため商談会や物産展への参加も重要と考え、今後も本事業を継続していく。

#### ⑩ 有効性の評価について

A	非常に大きな効果があった（指標数値が倍増など）
B	概ね目標を達成でき効果があった
C	一部目標を達成できず十分な効果が得られなかった
D	多くの目標を達成できず効果が低かった
E	未実施の取り組みもあり効果がなかった

#### 事業効果の評価について

A	非常に効果的であった（全てのKPIが目標を達成するなど、大いに成果が得られた）
B	相当程度効果があった（一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られた）
C	効果があった（KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始以前よりも取組が前進・改善した）
D	効果がなかった（KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難い）

#### 今後の方針について

A	事業の継続（計画通りに事業を継続する）
B	事業の発展（事業が効果的であったことから取組の追加等さらに発展させる）
C	事業の改善（事業の効果が不十分であったことから見直し（改善）を行う、または行った）
D	事業の中止（継続的な事業実施を予定していたが中止する、またはした）
E	事業の終了（当初の予定通り事業を終了する、またはした）

# 平成30年度 地方創生交付金関連事業評価・検証調書

I. 交付金対象事業		種別	<input type="radio"/> 加速化交付金	<input checked="" type="radio"/> 広域		
			<input checked="" type="radio"/> 推進交付金	<input type="radio"/> 単独		
① 国への申請事業名	<b>四国のゲートウェイを起点とした 「おどる宝島★とくしま観光・文化プログラム」発信戦略</b>					
(広域連携自治体)	徳島県、小松島市、鳴門市、徳島市、美馬市、三好市、海陽町、つるぎ町、東みよし町					
② 取組内容・目指す姿	徳島の強みを生かして交流人口の増加を図り、地域経済の活性化と雇用機会の拡大につなげる。	担当課	商工観光課			
		事業期間	平成28年度～32年度			
II. 事業内容						
③ 本市における実施事業名	④ 事業概要					
客船入港歓迎事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・徳島小松島港のうち本港地区および金磯地区、赤石地区に入港する国内外の大型客船の乗船客を対象に、本市で滞在してもらえる観光メニューの開発ならびに情報発信を行う。</li> </ul>					
観光・イベント振興事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・阿波遍路道を歩き四国霊場をめぐる動機付けとともに、観光スポット以外の本市特有の歴史や文化、食、自然などの魅力を発信するツールづくりを行う。</li> </ul>					
⑤ 事業計画(スケジュール)及び実施結果(予算・決算額・補助金)						
年度	事業計画	実施結果	予算・実績・補助金			
平成28年度	/	/	当初予算額	円		
			実績額	円		
			補助金額	円		
平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人観光客誘客に向けた受入環境整備</li> <li>・徳島東部地域DMO検討および着地型旅行商品の造成・販促</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クルーズ船(8隻)入港時に歓迎式典および特産品販売会を開催</li> <li>・外国籍クルーズ船(3隻)寄港時に岸壁にて特産品PR(試食・展示)及び市内無料シャトルバスの運行</li> </ul>	当初予算額	6,890,000 円		
			実績額	6,944,100 円		
			補助金額	3,445,000 円		
⑥ 重要業績評価指標(KPI)		単位	H26	H29		<広域連携自治体全体でのKPI> ・5年間の延べ宿泊者の増加人数(基準値) 260万人 (H29目標値) 285万人 ・5年間の外国人延べ宿泊者の増加人数(基準値) 5万人 (H29目標値) 7万人
		基準値	目標値	実績値		
1	年間観光客入込数	人	75万2千	77万3千	73万8千	
2						
3						※県との広域事業であり、本市は29年度より参加。このため28年度の本市実績数については記載せず。
⑦ 官民協働・自立性						
徳島東部地域DMOを設立し、市町村、民間企業等が連携することにより、徳島東部地域が一体となった観光施策に取り組む。						

### Ⅲ. 評価・事業効果および今後の方針

#### ⑧ 有識者会議の評価・検証結果

<ul style="list-style-type: none"> <li>・南小松島駅から、遍路道までの距離が遠く、わかりにくいので、市が、というわけではないが、対策を考えないといけない。</li> <li>・外国人の観光客が増えており、諸課題がある。</li> <li>・大型客船で来る観光客を小松島市内で取り込む工夫も必要。</li> <li>・小松島市の特産品をおいしかったなあと思ってもらうなど、小松島市について理解を深めていただき、また訪れる機会にしてもらいたい。</li> </ul>	外部組織による効果検証	
	A	<p>A. 地方版総合戦略のKPI達成に有効であった</p> <p>B. 地方版総合戦略のKPI達成に有効とは言えない</p>

#### ⑨ 交付金事業の地方創生への効果

有効性	②目指す姿・⑥KPIの達成に向けて効果があったか	B	県の誘客に向けた事業とともに、本市として国内外大型客船入港の機会に四国霊場ならびに食などの魅力発信事業を行い、本市に滞在してもらう。
事業効果	本事業の地方創生への効果	B	大型客船の乗船客に対して、小松島市に滞在していただけるよう、広報ツールの作成や改善を実施し、地域への波及効果を高めた。
今後の方針	事業拡大・継続・改善・事業廃止の方向性	A	今後とも、訪日外国人は増加傾向の見通しであるため、外国人をはじめとした観光対策は重要である。

#### ⑩ 有効性の評価について

A	非常に大きな効果があった（指標数値が倍増など）
B	概ね目標を達成でき効果があった
C	一部目標を達成できず十分な効果が得られなかった
D	多くの目標を達成できず効果が低かった
E	未実施の取り組みもあり効果がなかった

#### 事業効果の評価について

A	非常に効果的であった（全てのKPIが目標を達成するなど、大いに成果が得られた）
B	相当程度効果があった（一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られた）
C	効果があった（KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始以前よりも取組が前進・改善した）
D	効果がなかった（KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難い）

#### 今後の方針について

A	事業の継続（計画通りに事業を継続する）
B	事業の発展（事業が効果的であったことから取組の追加等さらに発展させる）
C	事業の改善（事業の効果が不十分であったことから見直し（改善）を行う、または行った）
D	事業の中止（継続的な事業実施を予定していたが中止する、またはした）
E	事業の終了（当初の予定通り事業を終了する、またはした）

# 平成30年度 地方創生交付金関連事業評価・検証調書

I. 交付金対象事業		種別	<input type="radio"/> 加速化交付金	<input type="radio"/> 広域
		<input checked="" type="radio"/> 推進交付金	<input checked="" type="radio"/> 単独	
① 国への申請事業名	「こまっしまに住みたい人」応援事業			
② 取組内容・目指す姿	地域の取り組みを集約する移住定住ワンストップ窓口を設置し、移住希望者のニーズに応えられる体制を構築する。	担当課	秘書政策課	
		事業期間	平成29年度～31年度	
II. 事業内容				
③ 本市における実施事業名	④ 事業概要			
移住定住促進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移住定住ワンストップ窓口の設置について検討、その他設置準備を行う。</li> <li>・空き家の所有者の特定後、利活用の希望調査を行い、空き家の利活用を図る。</li> <li>・移住者が定住できるよう地域の体制を整える。</li> <li>・中高大学生など、若者が小松島市に誇りを持ち、愛着を感じることで、地域に定住する、一度転出して戻りたいと思えるよう支援を行う。</li> </ul>			
⑤ 事業計画(スケジュール)及び実施結果(予算・決算額・補助金)				
年度	事業計画	実施結果	予算・実績・補助金	
平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・窓口設置検討会開催</li> <li>・空き家活用希望調査</li> <li>・お試し移住できる物件調査</li> <li>・各地区代表者・民生児童委員等への意識調査</li> <li>・小松島市についての意識調査</li> <li>・講座開催等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・窓口設置の県内状況の把握、「とくしま移住交流促進センター」での相談対応について聞き取り</li> <li>・都市部での移住フェアへ参加</li> <li>・農業漁業体験</li> <li>・地区ごとの人口分析、人口推計についての成果報告講座開催</li> <li>・リソースを活用した中高生対象研修</li> </ul>	当初予算額	1,700,000 円
			実績額	1,245,785 円
			補助金額	622,892 円
⑥ 重要業績評価指標(KPI)				
	単位	H28 基準値	H29 目標値      実績値	
1	移住者数	人	15	25      58
2	移住定住ワンストップ窓口を利用して、移住した世帯数	世帯	0	0      0
3	空き家の利活用件数	件	0	0      0
空き家物件については、住宅課で活用希望調査を行う。				
⑦ 官民協働・自立性				
農業漁業体験、お試し移住など官民協働で行い、移住相談、婚活などについても相談できる移住定住ワンストップ窓口を創設していく。				

### Ⅲ. 評価・事業効果および今後の方針

#### ⑧ 有識者会議の評価・検証結果

<ul style="list-style-type: none"> <li>・小松島市に誇りをもって愛着を持つところというところであると、今都会に出ている若者で、小松島市に縁がある人に、どうですかとターゲットを絞った政策などは、必要だと感じる。</li> <li>・いきなり住んでというのではなく、ステップを踏んでいくというのでないと、きつい。少しでも不安を取り除いてあげられるような施策にしてほしい。</li> <li>・住みたい人を探すことは大事なんだけど、仕事については、官を中心に整えていくということが重要。</li> <li>・小松島市も会社を増やすというのは難しいところはあると思うので、心落ち着くとか、食がいいとか、大きな病院がある、介護の部分でも割と充実しているなどで、小松島市に住みたいと思ってもらえるような感覚でもっていくことでもいいのではないかな。</li> <li>・一次産業にいきなり就労することは、ハードルが高い。今後、きめ細かい戦略に応じた取り組みをすることが大切。</li> </ul>	外部組織による効果検証	
	A	<p>A. 地方版総合戦略のKPI達成に有効であった</p> <p>B. 地方版総合戦略のKPI達成に有効とは言えない</p>

#### ⑨ 交付金事業の地方創生への効果

有効性	②目指す姿・⑥KPIの達成に向けて効果があったか	B	移住フェアへの参加、官民協働となる農業・漁業体験の構築など移住者増に向けて取り組んでいる。
事業効果	本事業の地方創生への効果	B	移住フェアへの参加、移住コーディネーター研修への参加など、本市への移住のきっかけづくりができた。中学生高校生に対してリーサスを活用した研修を行い、小松島市の良さについて認識し、地域資源を生かせるか考える機会ができた。
今後の方針	事業拡大・継続・改善・事業廃止の方向性	A	移住は結婚と同じと捉え、小松島市が好きだと思える方に移住していただきたい。同時に小松島市も移住する方を選びたい。その意識の醸成と、地元に対する愛着と自信を持てるように官民一体となり、取り組んでいきたい。

#### ⑩ 有効性の評価について

A	非常に大きな効果があった（指標数値が倍増など）
B	概ね目標を達成でき効果があった
C	一部目標を達成できず十分な効果が得られなかった
D	多くの目標を達成できず効果が低かった
E	未実施の取り組みもあり効果がなかった

#### 事業効果の評価について

A	非常に効果的であった（全てのKPIが目標を達成するなど、大いに成果が得られた）
B	相当程度効果があった（一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られた）
C	効果があった（KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始以前よりも取組が前進・改善した）
D	効果がなかった（KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難い）

#### 今後の方針について

A	事業の継続（計画通りに事業を継続する）
B	事業の発展（事業が効果的であったことから取組の追加等さらに発展させる）
C	事業の改善（事業の効果が不十分であったことから見直し（改善）を行う、または行った）
D	事業の中止（継続的な事業実施を予定していたが中止する、またはした）
E	事業の終了（当初の予定通り事業を終了する、またはした）